4 光線式の危険防止機構	⑴　投光器及び受光器（反射板を含む。）	①　覆いを取り外し、損傷、変形及び汚れの有無を調べる。	①　損傷、変形及び汚れがないこと。
		②　表示ランプ及びチェックボタンの状態を調べる。	②　表示ランプが正常に表示され、かつ、チェックボタンが正常に作動すること。
		③　光軸ごとに投光器側で光線を遮光し、作動状態を調べる。	③　確実に作動すること。
		④　平成23年７月１日以降に製造された安全プレスにあっては、遮光棒で連続遮光幅を調べる。	④　連続遮光幅が適正であり、かつ、最上光軸から最下光軸まで遮光状態になること。
		⑤　スケールにより、取付け高さの範囲を調べる。	⑤　当該機械の構造及び性能に照らし、適正な高さの範囲に確実に取り付けられていること。
		⑥　スケールにより、光軸面と危険限界との距離を調べる。	⑥　光軸面と危険限界との距離が当該機械の構造及び性能に照らし、適正であること。
		⑦　平成23年７月１日以降に製造された安全プレスにあっては、危険防止機構の連続遮光幅に応じた追加距離を調べる。	⑦　追加距離が、危険防止機構の連続遮光幅に応じたものであること。
	⑵　安全囲い等	①　安全囲い等の両側面の高さ及び取付け状態を調べる。	①　高さが十分で確実に固定され、かつ、光軸以外の部分から手が入る隙間がないこと。
		②　安全囲い等の下部、後面及び正面の取付け状態を調べる。	②　確実に固定され、かつ、光軸以外の部分から手が入る隙間がないこと。
		③　可動式の安全囲い等の取付け状態及びインターロック機構の異常の有無を調べる。	③　確実に固定され、かつ、インターロック機構に異常がないこと。
5 制御機能付き光線式の危険防止機構	⑴　投光器及び受光器	①　覆いを取り外し、損傷、変形及び汚れの有無を調べる。	①　損傷、変形及び汚れがないこと。
		②　表示ランプ及びチェックボタンの状態を調べる。	②　表示ランプが正常に表示され、かつ、チェックボタンが正常に作動すること。
		③　光軸ごとに投光器側で光線を遮光し、作動状態を調べる。	③　確実に作動すること。
		④　遮光棒で連続遮光幅を調べる。	④　連続遮光幅が適正であり、かつ、最上光軸から最下光軸まで遮光状態になること。
		⑤　スケールにより、取付け高さの範囲を調べる。	⑤　当該機械の構造及び性能に照らし、適正な高さの範囲に確実に取り付けられていること。
		⑥　安全囲い等の取付け状態及び最下光軸の位置を調べる。	⑥　光軸以外の部分から手が入る隙間がないこと。
		⑦　スケールにより、光軸と危険限界との距離を調べる。	⑦　光軸と危険限界と距離が当該機械の構造及び性能に照らし、適正であること。
		⑧　危険防止機構の連続遮光幅に応じた追加距離を調べる。	⑧　追加距離が、危険防止機構の連続遮光幅に応じたものであること。
	⑵　全周囲防護機構	①　全周囲防護機構の両側面の高さ及び取付け状態を調べる。	①　高さが十分で確実に固定されていること。
		②　全周囲防護機構の下部、後面及び正面の取付け状態を調べる。	②　確実に固定されていること。
		③　可動式の全周囲防護機構の取付け状態及びインターロック機構の異常の有無を調べる。	③　確実に固定され、かつ、インターロック機構に異常がないこと。
	⑶　制御機能	①　キースイッチを各切替え位置にセットし、運転状態を調べる。	①　各切替え位置で確実に作動すること。
		②　起動準備の操作をし、作動の適否を調べる。	②　適正に作動すること。
		③　制御機能の作動の適否を調べる。	③　適正に作動すること。
		④　セットアップタイマーの機能の適否を調べる。	④　セットアップ後、30秒以内に制御機能が解除されること。
		⑤　コネクター・ケーブルの異常の有無を調べる。	⑤　異常がないこと。